# 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要

【秋田スギ活用活性化計画】

計 画 主 体 名	計 画 期 間
あきたけん	
秋田県	平成23年度~平成26年度

## <連絡先>

秋田県 農林水産部 林業木材産業課 018-860-1916 018-860-3828 saitou-masayoshi@pref.akita.lg.jp	担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
		0 1 8 - 8 6 0 - 1 9 1 6	0 1 8 - 8 6 0 - 3 8 2 8	saitou-masayoshi@pref.akita.lg.jp

事業活用活性化計画目標

	事業活用活性化計画目標		増加率等の算出
	地域産物の販売量の増加	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	地域産物である県産材の木材加工施設での素材利用量の増加(%) = (木材加工施設等の素材利用量の目標数値)÷(木材加工施設等の素材利 用量の現状)×100 - 100 = 452千㎡(目標(H23~H26))÷366千㎡(現状(H19~H22))×100-100 = 23.50%
13	5米:40:44.74.150年前中央地		

#### 事業活用活性化計画目標の設定根拠

本県の製材工場は、零細で中小規模の工場が多く、コストダウンへの対応やニーズにあった製品の生産拡大への対応が遅れており、このままでは市場競争力が低下す るとともに、全国一のスギ人工林資源の有効活用が図れなくなることが危惧される。

一方、住宅メーカー等での国産材の使用を高める動きに対し、集成材生産工場においても、原材料を外国産材から国産材に転換する動きが進んでいる。 このため、製材工場の再編等による木材産業の構造改革を進めるとともに、集成材の原料転換も含めたニーズに対応できる秋田スギ製材品生産施設の整備が必要と なっており、施設整備によって地域資源であるスギ材の活用が図られ、雇用の創出・確保による定住化の促進など農山村の活性化に寄与するものとなる。

今回の施設整備では、施設稼働から3年後には148千㎡のスギ材の活用が見込まれており、目標数値については木材加工施設での素材(県産材)の利用量とした。 また、製材施設で45名、素材利用量の増加に伴う林業従事者(素材生産)88名、合わせて133名の新規雇用が見込まれており、これらの者が山村地域に居住すること となることから、定住の目標数値とする。

	<u> </u>			
I	H19	H20	H21	H22
I	440	356	348	320
			計	1,464
			平均	366

<u>日標</u>			
H23	H24	H25	H26
380	437	492	500
		計	1,809
		平均	452

単位∶千㎡

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
東米マロマルル		

#### 事業活用活性化計画目標の設定根拠

## 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

		I			I		I	ı	I	
事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望額 (千円)	交付額算 定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性
27.農林水産物処理加工施設	秋田県全域	集成材用ラミナ製材施設 木材乾燥施設 1式	木材乾燥施設6基 木くず焚きポイラー1 式 ボイラー棟140㎡ チップサイロ棟216㎡ チップおがくず棟405 ㎡ チッパー上屋243㎡ その他付帯工事1式	H 2 3	秋田製材協同組合	368,016	184,008	1/2	184,008	大規模製材工場を整備することにより、年間148,000㎡の県産の素材(スギ原木)の利用が図られることとなり、活性化計画の目標としている地域産物の生産量の増加(木材加工施設等の素材利用量の増加)に大き(寄与する計画となっている。また、製材工場では45名の新規雇用を見込んでいるほか、素材利用量の増加に伴う素材生産に携わる林業従事者の新たな雇用も見込まれることなど、山村地域での雇用の確保による定住化の促進が図られる計画内容となっている。
		合 計		368,016	184,008		184,008			

1 輸出促進緊急条件整備事業優先枠

- 福田尾温泉心水门至陽子末区														
優先枠の種類	優先枠指標	増加率等		増加率等の算出										
1 輸出促進緊急条件整備事業優先枠														
<b>信件が指の切り担</b> 権														
優先枠指標の設定根拠														
事業メニュー名	地区名		事業内容と優先枠指標との関連性											
2 生産製造連携事業計画優先枠														
優先枠の種類	事業メニュー名	地区名		優 先 枠 に 係 る 事 業 内 容										
2 生産製造連携事業計画優先枠														
3 再生可能エネルギー供給施設	整備優先枠													
優先枠の種類	地区名			優先枠に係る事業内容										
·														
3 再生可能エネルギー供給施設整備優先枠														
4 農林漁業再チャレンジ支援対策	·													
		11.55												
優先枠の種類	事業メニュー名	地区名		優 先 枠 に 係 る 事 業 内 容										
4 農林漁業再チャレンジ支援対策														
5 農山漁村地域再生対策														
/= <i>\L</i> +		交付対象	事業と併せて実施される関連事業	関連施策と交付対象事業との関連性及び併せ行うことにより期待される効果										
優先事項		施策の名称	所管省庁											
		NEW ANDIR	Week											
5 農山漁村地域再	生対策													
5 展山 <u>無行地场</u> 社工对象														

# 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金年度別事業実施計画

				新規・ 変更 の別 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		道府県 ロード 地方公		計画主体 コード (地方公 # 田体		しード事		市町村名	地区名		地域	指定状況			計	事業活計區	5用活性化 画目標	農山漁村再チャレンジ支援対策	関連施策との 連携	地域再生計画と の関連	, 頑張る地方応 援プログラムと の関連	耕作放棄地の 解消に向けた 取組の有無	優先枠指 標	輸出優先枠 連携計画係 先枠関係	再生可能工 ネルギー優 先枠関係	事業メ	
			出年度	· 变更: <u>?</u>	名 二号	- ド番 (総務 (約))	計画主体名	コード番 号(総務 省))	番号	事業の別 (ード:1 /フト:2	整理コード	מי נו נא קו	76E F	山村過疎	特農	半島離島	景 豪雪 急(	<u>負</u> 沖縄 □			増減率 号 等	ポイント 市町村合計欄 に記入	ポイント 市町村合計欄 に記入	ポイント 市町村合計欄 に記入	ポイント 市町村合計 欄に記入	ポイント 市町村合計 欄に記入	輸出量の増加 増減 率等	関連する事 関連する事 業は1を記 戦 載			事業メニュー名
事業別区	內容	内訳	H 2 3	秋日	田県 5	50008 乖	秋田県	50008	3	1	1	秋田市	秋田県全域	1 1																27	農林水産物処理加 工施設
				4							2																				
											3									+	$\leftarrow$										
											5									+	<del>//</del>										
											6																				
											7																				
				4							8																				
											10								-	$\mathcal{A}$	$\leftarrow$										
											11									+	<del>//</del>										
											12																				
											13																				
				4					_		14																				
**** T. T.	マル ルショウ	合計(F)		/ fur	n.e	-0000 1	(J.m.)	50000		$\langle \  \  \rangle$	999			+		<u> </u>	$\mathbb{X}$	$\mathbb{X}$	H:	2 6	5 00.50										
争美活用	活性化計画目標	<b>景寺</b>	H 2 3	秋日	世界 5	50008 <b></b>	秋田県	50008	3	$\overline{}$	1001			H		+	XX	H	$\forall$		5 23.50										
											1003					$\overline{/}$	1//	$\mathcal{I}$	$\mathcal{I}$												
											1004								1												
											1005				$\square$				4												
					_				_		1006			W	$\angle$	//			4												
事業質	計(=(F)) ハード事業		H 2 3			50008 和 50008 和		50008 50008	3		2001			+		+	$+\times$	+	+	+	$\leftarrow$										
	/\ \   \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	創意工夫発揮事業	1123	1/1	цж o	10000	МШЖ	30000	3	1	2003			1//		$\overline{/}$	H	X	$\forall$	+	<del>//</del>										
		附帯事業								1	2004								1												
	ソフト事業									2	2005																				
		創意工夫発揮事業		4					4	2	2006				$\angle$	4			4												
	附帯事務費		H 2 3	秋日	TIE 6	50008 <b>利</b>	f.k m lel	50008	2	1	2007			W		<u> </u>	$\mathbb{X}$	$\mathbb{X}$	+	$\langle \langle \langle \rangle \rangle$	$\leftarrow$										
	+ + )		H 2 3	1 秋日		50008 A		50008	3	$\overline{}$	2008			+		+	<del>//</del>	+	$\forall$	+	+										
	_	業( + + )		秋日		50008 和		50008	_	1	2010			1//		$\overline{/}$	<del>//</del>	<del>//</del>	$\mathcal{A}$	$\overline{/}$	1										
	うちソフト事態	業( )								2	2011								1												
共同で	十画作成を行う:					4			$\Delta$																						
	町	事業費(ハード) 市町村等附帯事務費	-			$\dashv$			$\dashv$	1						$\mathcal{H}$			1												
	××県	事業費(ソフト) 事業費(ハード)							4	2									1												
	00*	都道府県附帯事務費							_	1	=																				
		市町村等附帯事務費事業費(ソフト)							$\pm$	2																					

1